

第39回日本腎臓学会東部学術大会

＜男女共同参画委員会特別企画＞パネルディスカッション

1. 男女共同参画委員会設立の 効果と広報活動について

筑波大学臨床医学系腎臓内科

斎藤知栄

日本腎臓学会男女共同参画委員会

Mission(使命)・Goal(到達目標)・Strategy(方策)

Mission (使命): より多くの医師が、個々の仕事、生活の多様性を尊重しつつ、腎臓学への取り組みを通じて男女共同で支える豊かな医療を推進する

Goal (到達目標)とStrategy (方策)

1. 次世代の腎臓学の担い手を育てるため、増えている女性医師への啓発、広報をおこなって専門医志望者の増加をうながしゆとりある医療、研究の場を提供する
 - ・初期研修での腎臓学の啓発と女子医学生への教育 (研修セミナーへの参加)
 - ・HPでの、委員会設立広報 (設立完了, 広報中)
 - ・総会でのシンポジウム開催と展示ブースの開設 (実行中)
 - ・国内外の学会との連携
2. 各部門のリーダーとなる医師を性差なく押上げ、男女共同して腎臓学の医療、研究、教育の充実をはかる
 - ・人材発掘と登用 (女性評議員、座長の増加)
 - ・役員内の男女均衡アクションによるサポート (各委員会への女性評議員の参入)
3. あらゆる生活の局面で、腎臓学の高い専門性を維持してキャリアを途絶えさせないシステムを構築する
 - ・育児中の常勤、非常勤医受け入れ施設の広報 (アンケート実施)
 - ・現場復帰プロジェクト(卒前、卒後研修委員会) (第2回アンケート実施)
 - ・認定医、専門医制度の改変 (改変完了)
 - ・日本透析医学会との連携 (日本透析医学会男女共同参画委員会との協働)
4. 職場環境、家庭環境に応じた参加しやすい学会運営を目指す
 - ・託児所の設置を常態化 (実行中)
5. 成長途上の医師が腎臓学と取り組む上での問題に直面した際、孤立を防ぎキャリア継続と向上への意欲をサポート
 - ・相談窓口の開設 (実行中)

男女共同参画委員会の 活動内容の広報

- 学会でのシンポジウム・パネルディスカッションの開催
- 相談コーナー・展示ブースの開設
- 学会ホームページ上の委員会コーナーの開設
- 評議員メールによる新着情報の配信
- 活動内容紹介のパンフレット作成



腎臓学会男女共同参画委員会
成り立ちの経緯

女性腎臓医師の会 (JSWN) 発足 (代表: 原 茂子先生)

同JSWNで、日本腎臓学会理事長下條文武先生講演
(女性腎臓医師の多様なキャリア維持システムの紹介)

ける男女腎臓医のキャリア支援の取り組みを希求していくこ



相談コーナー

個別相談室



受付

展示ブース



日本腎臓学会
ホームページに
委員会のバナー
を設置

- 一般の方へ
- 学生・研修医向け
- 医療従事者向け
- 会員向け

男女共同参画について

- ニュース&トピックス
- 理事長ご挨拶
- 日本腎臓学会について
- ELI関連
- 診療ガイドライン
- 学術集会・市民公開講座
- 研修学会・研究会・セミナー
- 公益情報
- 腎臓専門医内分
- 会員向け
- 男女共同参画について

男女共同参画について - 第38回日本腎臓学会東部学術大会 5

1800) → 男女共同参画について → 男女共同参画について | 第38回日本腎臓学会東部学術大会 |

足利赤十字病院 女性医師支援プロジェクト

日本腎臓学会男女共同参画委員会トップ

第38回日本腎臓学会東部学術大会
日本腎臓学会男女共同参画委員会パネルディスカッション

「ワークライフバランス(仕事と生活の調和)
—多様化する医師のキャリアプランの実現にむけて—」



ASHIKAGA RED CROSS HOSPITAL

足利赤十字病院
女性医師支援
プロジェクト

六本木ヒルズアカデミーに於いて
平成20年10月12日(日)
足利赤十字病院
院長 小松本 悟

男女共同参画について - 第38回日本腎臓学会東部学術大会 |

Home > 男女共同参画について > 男女共同参画について - 第38回日本腎臓学会東部学術大会 |

子育てと腎臓内科医を両立するための問題点

日本腎臓学会男女共同参画委員会トップ

第38回日本腎臓学会東部学術大会 日本腎臓学会男女共同参画委員会パネルディスカッション

「ワークライフバランス(仕事と生活の調和)
—多様化する医師のキャリアプランの実現に向けて—」

子育てと 腎臓内科医を両立するための問題点

静岡県立総合病院 腎臓内科 松尾陽子、森 典子

【職場に関する問題点】

保育園への送迎(時間的制約)

- 仕事を減らさざるを得ない
- 夕方の緊急入院・緊急透析に対応できない

託児ができない時間帯では自由がきかない

- 24時間保育の問題
(当院では年齢制限、保育実施日に規制がある)
- 夜間緊急呼び出しの対応が遅れる
- 患者家族への病状説明や密なコンタクトが取りにくい
→ 患者・家族との信頼関係への影響

職場の理解とサポートを要する

【自分自身に関する問題点】

家庭での仕事量が増える

子供の世話・子供のための時間を作る

- 体力的に疲弊する
 - 子供の速度にあわせる必要がある
 - 自分の時間を削る・自分の時間確保が出来ない
→日頃の鬱憤は貯まるばかり・精神的にも疲弊する
- #### 学会や各研究会・セミナーへの参加を控えざるを得ない
- 託児の問題
 - 子供の体調により予定を立てにくい
→新しい知識や技術を得る機会が得にくい

キャリアアップへの影響

【子供に関する問題点】

予測し得ない病気

- 仕事を中断して迎えに行かねばならない
- 看病を他者に依頼しなければならない
→病児保育、ファミリーサポート、ベビーシッター、親
- 仕事に集中できない
- 母親への非難

長時間保育による子供の体力、精神的ストレス

- 子供が体調を崩しやすい
(親が忙しい時ほど保育時間も長くなり子供が体調を崩す)

子供とのコミュニケーション不足

保育所以外のサポート体制を要する

復帰支援プログラムに関する アンケート結果の概要

		平成19年		平成20年	
		（％）		（％）	
アンケート数		422		447	
	あり	234	(55.5)	254	(56.8)
	なし	188	(44.5)	193	(43.2)

		平成19年		平成20年	
		（％）		（％）	
復帰支援 プログラム	有効回答数	234		254	
	あり	9	(3.8)	22	(8.7)
	なし	225	(96.2)	232	(91.3)
プログラム 作成予定	有効回答数	225		232	
	あり	79	(35.1)	71	(30.6)
	なし	146	(64.9)	161	(69.4)

- 腎臓学会教育関連施設へ2年連続でアンケート調査を行った
- 両年度とも50数%の回答率であった
- 復帰支援プログラムを有する施設は1年間で微増した
- プログラムを有する施設も現在進行形で復帰支援を進めている様子が伺えた
- 復帰支援プログラムの普及にはさらなる工夫が必要と思われた

復帰プログラムを有する施設の状況

	施設全体としてのプログラムの有無	腎臓学の専攻	プログラムのHP上での参照
1	東京医科歯科大学	無	可
2	岡山大学	有	可 (一部のみ)
3	北彩都病院	無	可
4	横浜市立大学	有	可 (一部のみ)
5	聖隷横浜病院	有	可
6	田附興風会北野病院	有	可
7	愛媛大学	有	可
8	山形大学	有	可
9	田川市立病院	無	可
10	徳島大学	有	可
11	福島県立医科大学	有	可と思われる
12	自治医科大学	有	可
13	名古屋大学	無	可
14	湘南鎌倉総合病院	有	準備中

- 復帰支援プログラムを有することの公開許可を得られた14施設を掲示
- 男女共同参画委員会として、HPの紹介や復帰プログラムの紹介等を行い、
 1. 現場復帰希望者が情報を得る
 2. 復帰プログラム作成予定施設が参照できるように活動を継続する計画です
- 今後ともご協力のほど、よろしくお願いいたします。

広報活動における今後の課題

- 発信先に応じた情報の提供内容
（男性・女性共に）
 - － 若手医師
 - － 中堅・ベテラン医師
 - － 医学生
- 発信先に応じた情報の提供手段
 - － 学会での広報
 - － ホームページ
 - － パンフレット
 - － メール（評議員メール他）